平成〇〇年度　学校評価 自己評価表

1 「学力向上」について

重点目標	具体的取組	評価指標	評価方法
国語や算数の基礎基本の定着を図る。	毎週火曜日のチャレンジタイムを活用し、月1回の漢字力・計算カテストを実施する。	低：漢字・計算力テストで９０点以上を８５%の児童が達成する。 中：漢字・計算力テストで９０点以上を８０%の児童が達成する。 高：漢字・計算力テストで９０点以上を７５%の児童が達成する。	漢字カテスト 計算カテスト
	提出物、家庭学習ノートの点検指導を毎日実施する。	低：毎日宿題をすることができる。 中：宿題や自己学習が３０分以上できる。 高：宿題や自己学習が５０分以上できる。	家庭学習ノート ドリルの状況 家庭学習頑張り表 保護者アンケート
学び合いのできる授業づくりに努める	グループでの話し合いを取り入れた授業を実践する。	友だちと仲良く教え合って勉強している。	生徒アンケート

2 「豊かな心の育成」について

重点目標	具体的取組	評価指標	評価方法
基本的な生活習慣の向上を図る。	8時15分登校、8時20分着席を重点にした朝のあいさつ運動と下校指導を実施する。	8時15分登校ができている。 元気な挨拶ができる。	登校状況 生徒アンケート
	生活状況についての振り返りカードを工夫・活用する。	自己評価成績がよい。	振り返りカード

3 「健康と体力の向上」について

重点目標	具体的取組	評価指標	評価方法
運動能力の向上を図る。	体育カードや頑張りカードを用いて計画的な測定を行い、目標達成に向けた支援をしていく。	半数以上の児童が逆上がり、水泳、持久走、縄跳びの記録で自己更新ができる。	個人カード 児童アンケート 補助簿
食育教育の充実による望ましい食習慣を築く。	地域人材の活用による講演会や日々の給食指導により、給食の残菜を減らす。	好き嫌いをせず、残さないよう食べている。	講演会の感想 給食の残菜量 生徒アンケート

4　「信頼される学校づくり」について

重点目標	具体的取組	評価指標	評価方法
保護者の学校理解を深めるための情報発信の充実を図る。	各種たより、電話、面談等を通して、教育状況の情報発信に努める。	保護者の皆さんが学校の教育業況について理解を深めている。	保護者アンケート 生徒アンケート